

VI-14 中村工事事務所における建設CALS／EC実証フィールド実験
(工事施工) の紹介

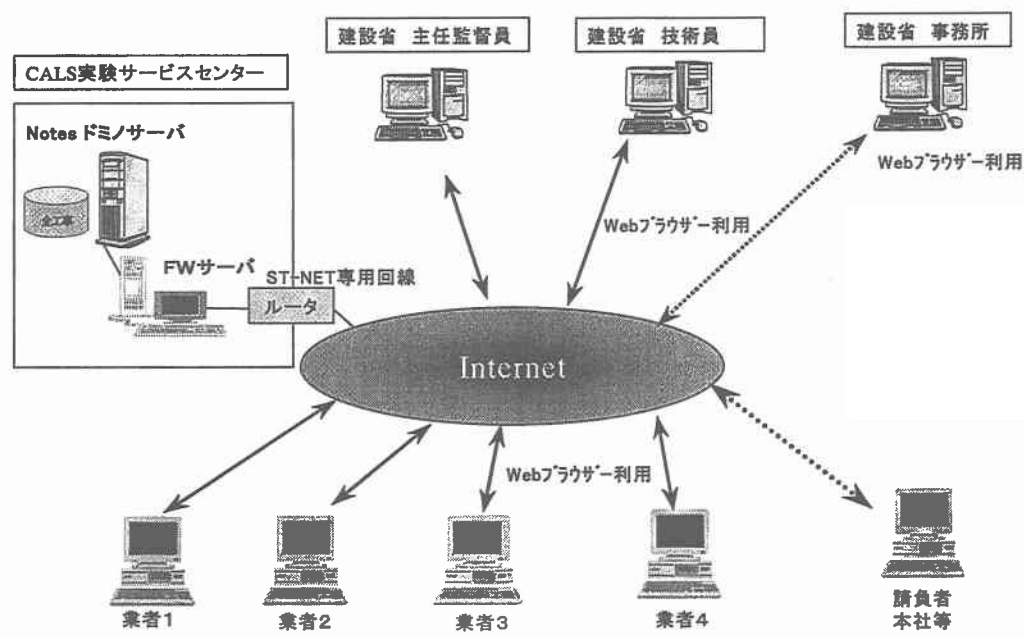
四国地方建設局中村工事事務所 ○中村慎二
四国地方建設局中村工事事務所 上岡秀喜
四国地方建設局中村工事事務所 浜田幸和

1. はじめに

建設省では平成8年度から全国的に建設CALS／EC実証フィールド実験を入札・契約、設計・積算、工事施工、維持管理などを対象として開始している。実験の目的は、現状の業務の流れを部分的に電子化して将来、公共事業全体にCALS／ECを導入するための基礎資料を得ることである。中村工事事務所においても工事施工の分野で平成11年度にフィールド実験を行ったのでその内容を紹介する。

2. 実験の内容

(1) 構成図



(2) 実験の項目

市販の文書管理ソフトを利用して以下の内容を実施した。

項目	利用目的	備考
①書類の電子納品	工事打合簿（指示、承諾、協議、通知等） 工程表、履行報告、段階確認・材料確認願 出来形管理資料、品質管理資料 工事写真（デジタル写真管理情報基準（案））	工事写真以外は電子決済とした。 決済後の文書は、主任監督員以外 は編集・削除できない。
②掲示板	会議の招集、意見交換	
③電子メール		
④スケジュール管理	実験参加者全員のスケジュール把握	

(3) ①の文書作成事例



(工事打合せ簿の整理状況)



3. 感想等

計成果、使用材料の品質証明資料、関係機関との協議文書等の電子化が図られていないことにより本格的なデータ共有実験とはならなかった。

施設の構造決定や重要事項の処理にあたっては従前の紙によるやりとりも残して最終段階で電子納品といった形態が合理的と考えられる事項もあった。

実験参加者間のスケジュール管理や電子メール機能は積極的に活用した。

4. 今後の予定

設計成果図面がCADで納品された工事を対象にフィールド実験を実施したいと考えている。